



探究的な学習の在り方に関する
研究推進事業

坂中学校区
(坂中, 坂小, 横浜小, 小屋浦小)

研究主題

主体的に学ぶ児童生徒の育成 ～生活科・総合的な学習の時間におけるICTを 効果的に活用した授業づくりを通して～



実施体制

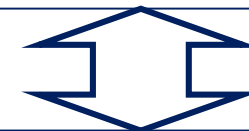
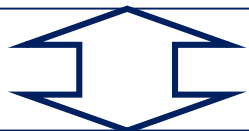
研究推進協議会

校長会（月1回）

会長：校長会会長 構成員：各校校長



坂町教育委員会



プロジェクトチーム

事務局：校長会会長校

事務局長：校長会会長校 研究主任（研究推進リーダー）

構成員：各校研究主任

内容：年間計画・単元開発・研究のまとめ

坂中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力の具体の姿

	小 学 校			中 学 校
	低 学 年	中 学 年	高 学 年	
チャレンジする力 【挑戦】 【粘り強さ】 【解決力】	<ul style="list-style-type: none"> 課題や自分で決めたことに対して、最後までやってみようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や自分で決めた目標に対して、粘り強くやり通そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見付け、取り組もうとしている。 粘り強くやり切ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題に対してだけではなく、自分なりに目標をもち、果敢に挑戦しようとしている。 決めたことは、困難に負けず、やり切っている。 自ら課題を見付けたり、調べたり、工夫してまとめたりしている。
表現する力 【自分】 【目的・相手・場面】 【工夫】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを、目的や相手に応じて、根拠を明確にして伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを、目的や相手、場面に応じて、工夫しながら伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身のことや自分の考えなどを理解してもらえるように、目的や相手、場面に応じて、内容や方法、表現の仕方などを工夫しながら伝えることができる。
協力・貢献する力 【役割】 【感謝】 【行動力】	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭の中での役割に気付き、行動しようとしている。 「ありがとう」が言える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭、地域の中での役割に気付き、皆と協力して行動している。 進んで感謝の気持ちを伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭、地域の中での役割を考え、皆と協力して行動している。 感謝の気持ちを相手に伝わるように表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭、地域の中での役割を自覚し、皆と協力して行動している。 地域の発展のためには、どのようなことをすればよいかを考え、行動している。

**坂小学校 第4学年
総合的な学習の時間**

**「きれいで自慢できる町 坂町
～わたしたちにできること～」**

坂町立坂小学校 第4学年 総合的な学習の時間 「きれいで自慢できる町 坂町 ~わたしたちにできること~」

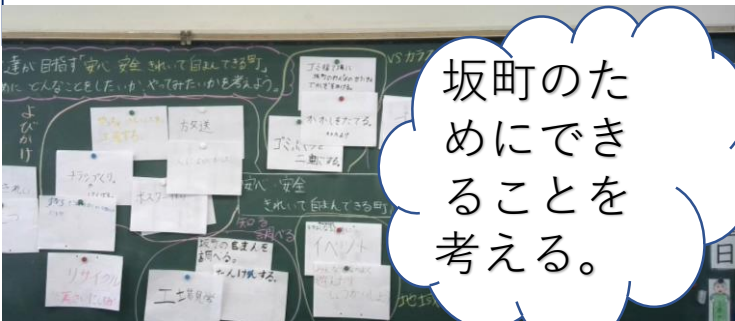
【単元のねらい（重点化した資質能力）】

坂町のごみ問題の現状について調べたり、課題解決のために協働して取り組んだりすることを通して、ごみを減らす取組を続ける人々や組織の意図や願いを理解するとともに、ごみを減らすために自分たちにできる具体的な取組について考え、自分たちの生活とのつながりを意識することができる。

【児童の変容・様子】

1学期：ごみ拾い等のフィールドワークを通して、坂町のごみ問題の現状を理解し、取組を考え行動することができた。しかし、**自分たちの行動と坂町の環境美化のつながりを感じることはできていなかった。**（ごみがたくさん落ちていること、缶や瓶、たばこの吸い殻等様々な種類があることに気付く。）

2学期：**自分たちの行動と坂町の環境美化のつながりを感じ、自分にできることを実践する姿が現れ始めた。**（落ちているごみを拾うようになったり、家でもごみの分別をするようになったりした。）



町のごみを減らし綺麗にするために自分たちの出来ることを考え実行する。

横浜小学校 第4学年
総合的な学習の時間
「受け継ごう！伝えよう！
横浜の宝 ひき船」

坂町立横浜小学校 第4学年 総合的な学習の時間

単元名 受け継ごう！伝えよう！横浜の宝 ひき船

【単元のねらい（重点化した資質能力）】

地域に古くから伝わるひき船について、課題意識をもって調べたり、ひき船に関わる人たちから話を聞いたりすることを通して、地域の伝統やそれらを大切にしてきた人々の思いや願いに気づき、地域への愛着を深め、郷土を大切にしようとする思いをもったり、それらを継承していくために自分たちにできることを考えたりすることができる。（表現する力）

【児童の変容・様子】

- ①ひき船は本当に横浜の宝なの？！→神輿の形、飾り、かけ声など、横浜ならではのものがたくさん！本当に宝だね！
- ②伝統文化に危機がある？！→感染症の流行で3年間も秋祭りにひき船がでてないよ ひき船も危機があるのかな？
- ③ひき船は横浜でどのように受け継がれてきたのだろうか？→人から人へと大切に伝えられてきたんだね。
- ④ひき船を受け継いでいくために自分たちにできることを考えよう。→もりあげチームとお知らせチームを作ろう！
- ⑤ひき船を忘れかけている人にメッセージを送ろう、ひき船を知らない人にひき船のことを知らせよう。（情報発信！）

ひき船の飾りには色々な意味が込められているんだね！かっこいい！



ゲストティーチャーによるひき船授業

低学年はひき船を知らない人がほとんどだね。



Googlefoamを活用し、全校児童にアンケートを実施

私たちのグループは、ひき船を地域の人に思い出してもらうために、ポスターを作ることになりました。



グループの考えを全体で共有

小屋浦小学校 第2学年 生活科

「おもちゃはかせになろう
～ぼくたち・わたしたちのこやラボ～」

坂町立小屋浦小学校 第2学年 生活科

単元名 おもちゃはかせになろう～ぼくたち・わたしたちのこやラボ～

【単元のねらい】

身近な自然を利用したり，身近にあるものを使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，遊びや遊びに使うものを工夫して作り，その面白さや自然の不思議さに気付くとともに，みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができる。

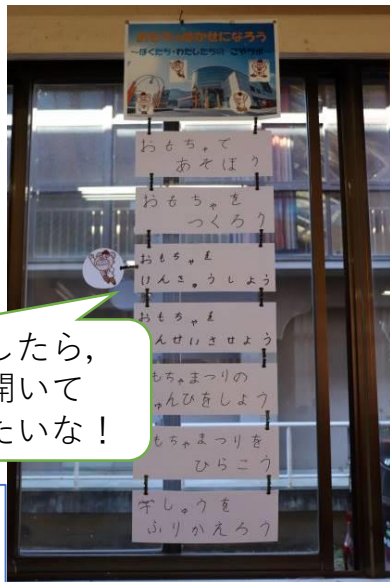
【児童の変容・様子】

- ①単元の導入 「自分が作ったおもちゃがあんなに速く走るなんて，とても大成功だと思いました。」（感想のみ）
- ②おもちゃ作り1回目 「これからも，研究を進めてみんなに楽しんでほしいです。次は，もっと転がるおもちゃにしたいです。」
（相手意識，次時へのめあて）
- ③おもちゃ作り2回目 「テープを貼りすぎたらテープがからまってよく転がらない。分かったことは，ビー玉で作る時は幅を小さくする。」
（改善点，工夫した所）
- ④単元のまとめ 「みんな楽しそうでした。1年生を喜ばせようという気持ちが伝わったと思います。」
（単元のゴールについての振り返り，達成感と満足感）



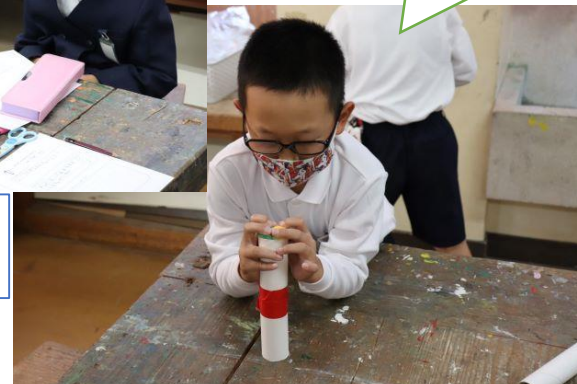
おもちゃが完成したら，おもちゃ祭りを開いて1年生を招待したいな！

子供たちと一緒に考えた単元計画



グループで研究を進めている様子

もっとよく動かすために大切なことは…



1年生に遊び方を教える様子

おもちゃの遊び方とルールを説明するよ！

**坂中学校 第3学年
総合的な学習の時間**

「お互いの命をまもり合おう」

3年総合的な学習の時間

「お互いの命をまもり合おう」

本質的質問

持続可能なまちづくりにむけ、私たちができることは何か

単元質問

防災に強いまちづくりを目指して、中学生の私たちがふるさと坂のためにできることは何か

内容質問

防災マップ, 自助・共助・公助, 災害, 西日本豪雨, 防災・減災, 防災グッズ, 避難所, 坂町の取組, 避難経路, 地域の人々の意識, 南海トラフ地震 など

3年総合的な学習の時間

「お互いの命をまもり合おう」

育成すべき資質・能力

チャレンジする力	表現する力	協力・貢献する力
<p>ふるさとについて知っていること・経験したことと、新たに学習したこととのズレを通して、自らが解決したい問いを持ち、解決に向けて果敢に挑戦することができる。</p>	<p>ICTを効果的に活用して、自分たちの考えや思いを表現することができる。坂町の防災について考えたことを、目的や相手、場面に応じて、内容や方法を工夫しながら表現することができる。</p>	<p>周りの仲間と意見を交流しながら協力し、地域の一員としてどのようなことができるかを考え、行動することができる。</p>

3年総合的な学習の時間 「お互いの命をまもり合おう」

探究活動Ⅰ
防災についての理解
を深める

探究活動Ⅱ
追悼集会の企画・運
営を通して、防災意
識を高める

探究活動Ⅲ
グループでテーマを決
め、これまでの学びを
外部に発信し、地域
に貢献する

ゴールイメージ
中学生の私たちが
ふるさと坂のため
にできることは
何か考え、行動す
ることができる

3年総合的な学習の時間 「お互いの命をまもり合おう」

探究活動Ⅰ
防災についての理解
を深める

ゴールイメージ

中学生の私たちが
ふるさと坂のために
できることは
何か考え、行動す
ることができる

探究活動Ⅰ
防災についての理解を深める

情報の収集
○防災学習プリントを使って、防災に関する基礎的な知識を学ぶ

体験・振り返り
○まとめとして、自衛隊の出前授業を行い、自己の学びを関連付け、探究活動Ⅰを振り返る

整理・分析
○前時の学習から興味を持ったテーマを決め、テーマに沿って調べたことをPPにまとめる

創造・表現
○PPを使って調べたことを発表し、他者に伝える
○ジャムボードを使って、他者評価を行う

課題の設定
○KJ法を用いて、坂町のよいところ、改善してほしいところを交流する
○坂町の令和3・4年度の一般会計歳出を比較し、気付いたことを交流する

探究活動 I 評価規準

		協力・貢献する力	表現する力
		<p>班での役割を自覚し、皆と協力して調べ学習をすることができている。発表の中で、防災に向けて皆に提案したいことを明確に伝えることができている。</p>	<p>相手に理解してもらえるように、表現の仕方などを工夫しながら発表することができている。</p>
			<p>①声の大きさは？ ②目線は？ ③発表の姿勢は？ ④分かりやすさは？</p>
評価	評価及び評価の視点		
A	<p>「十分に満足できる状況」 ○「防災にむけた提案性」「皆と課題を解決しようとする姿勢」が十分に感じられる。</p>		<p>「十分に満足できる状況」 ○「相手や場面に応じて」「言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら」発表することができている。</p>
B	<p>「おおむね満足できる状況」 ○「防災にむけた提案性」「皆と課題を解決しようとする姿勢」がおおむね感じられる。</p>		<p>「おおむね満足できる状況」 ○「相手や場面に応じて」「言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら」発表することがおおむねできている。</p>
C	<p>「努力を要する」状況 ○「防災にむけた提案性」「皆と課題を解決しようとする姿勢」が感じられない。</p>		<p>「努力を要する」状況 ○「相手や場面に応じて」「言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら」発表する</p>

探究活動 I

課題の設定

○KJ法を用いて、坂町のよいところ、改善してほしいところを交流する

○坂町の令和3・4年度の一般会計歳出を比較し、気付いたことを交流する

【しかけ】

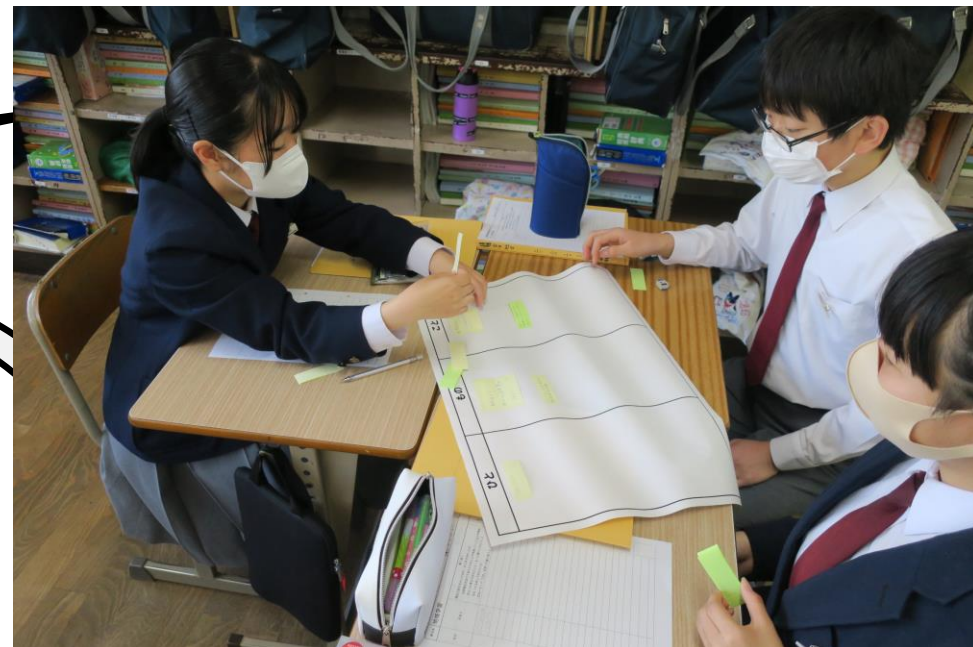
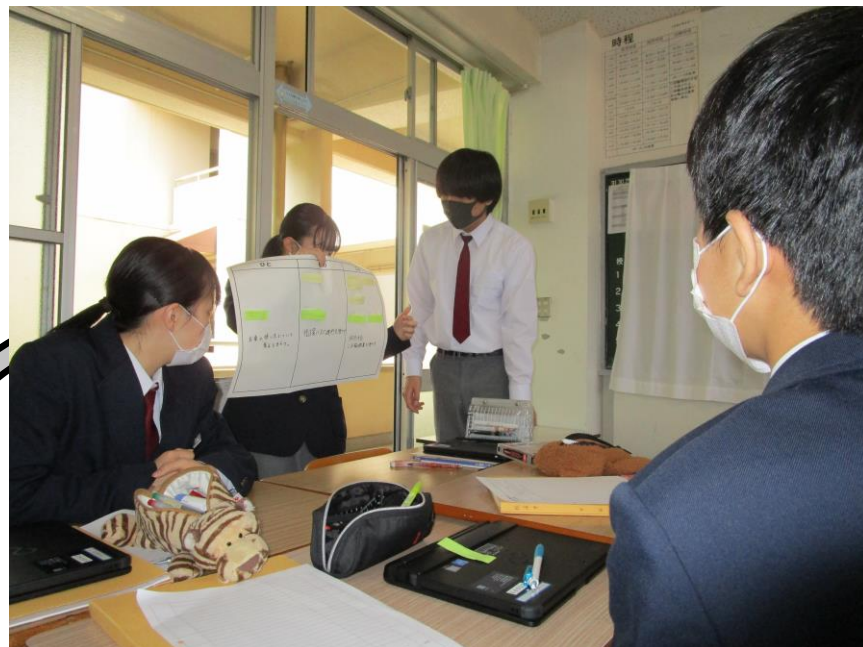
○坂町のよいところ、改善してほしいところについて多様な意見を知る。

○坂町の災害復旧費が5億5000万(令和元年度)⇒3000万(令和4年度)になっていることを坂町の会計歳出から知る。



- ・こんなに災害復旧費が減っているとは思わなかった。
- ・予算が少なくなっている中で、どんな防災対策ができるだろうか。
- ・中学生としてふるさと坂のためにできることはないだろうか。

探究活動 I



課題の設定

○KJ法を用いて、坂町のよいところ、改善してほしいところを交流する

○坂町の令和3・4年度の一般会計歳出を比較し、気付いたことを交流する



探究活動 I

情報の収集 ○防災学習プリントを使っ て、防災に関する基礎的な 知識を学ぶ



I 災害の種類と特徴

私たちを取り巻く環境は日々変化しています。自然は私たちに多くの ア をもたらし、社会生活の基盤となるものです。

しかし、地球の歴史にとってはほんの少しの変化であっても、私たち人間にとっては生活をおびやかす急激な変化や異常な状態となることがあります。この変化によって イ を生じることを自然災害と呼びます。

ア

イ

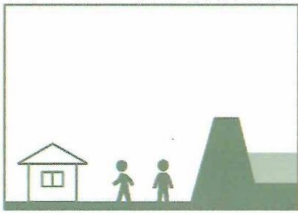
Q1 次の図から連想されるのは、どのような災害ですか。

①



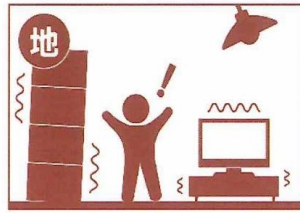
()

②



()

③



()

(出典：「命を守る」ための防災教育イラスト集 国土交通省防災教育ポータル)



探究活動 I



整理・分析

○前時の学習から興味を持ったテーマを決め、テーマに沿って調べたことをPPにまとめる



探究活動 I



創造・表現
○PPを使って調べたことを発表し、
他者に伝える
○ジャムボードを使って、他者評価
を行う

探究活動



3班 表現する力	アニメーションがたくさんで見えて面白かった三登	様々なスライドのアニメーションを使っていて、分かりやすかったです。古川	スライドがわかりやすくまとまっていた 浅野	スライド面白かった 福田	bアニメーションがたくさんあってわかりやすかったけど聞き取りづらいところがあった 平岩	声小さかったりシャベルの早すぎる人がいて聞き取りにくかった川崎
A NICE 伊藤	A スライドが見やすかった 上田	強調したいところに色を付けていて見やすく分かりやすかった 大岡	アニメーションがたくさんついていてよかった 清水	Aスライドがよかった 岸田	B すこし話すスピードが速かった 村上	A 少し聞き取りにくかった 小松
A スライド良かった 宮下	スライド良かった 新見	スライド画よかった 河下	A スライドの使い方が上手だった。 加藤		長い文に赤い文字などを入れればもっと良くなると思う 渡辺	
スライド良かった 芦見	A 避難場所にもいろいろあってその説明を一つ一つしてくれて分かりやすかったです 宮田	A スライドがたくさんあってよかった 菅波	Aスライドがすごかった森橋	A聞き取りやすかった 渡部璃空		
アニメーションがたくさん使われていて良かった	スライドが良かった 竹国	A スライド良かった。古谷	アニメーションが多かったよかった 松本		bスライドの表現が良かったと思う。 賀屋	

創造・表現

○PPを使って調べたことを発表し、他者に伝える

○ジャムボードを使って、他者評価を行う

探究活動 I

ロープワーク (もやい結び)

防災講話



体験・振り返り
○まとめとして、自衛隊の出前授業を行い、自己の学びを関連付け、探究活動 I を振り返る



簡易担架体験



自衛隊車両見学

自衛隊出前授業を終えての生徒の感想

講話では、自助、共助、公助があり、助かった命の割合は7:2:1ということを知りました。公助で自衛隊の人が助けることのできる命は、10人のうち1人しかいなくて、自助や公助で助かっている人がほとんどだと分かり、**常に「今災害が起こるかもしれない」という意識で、行動できるようにしたい**です。

車両展示では、自衛隊が乗る車には、いろいろな種類があり、種類によって性能や役割が違っていることが分かりました。また、簡易担架では、竹に折りたたんだ毛布を少し巻き付けるだけで、上に乗る人や物が滑り落ちることを防止できると知り、とても感心しました。

3年総合的な学習の時間 「お互いの命をまもり合おう」

探究活動Ⅱ
追悼集会の企画・運営を通して、防災意識を高める

ゴールイメージ

中学生の私たちがふるさと坂のためにできることは何か考え、行動することができる

探究活動Ⅱ

追悼集会の企画・運営を通して、防災意識を高める

情報の収集・整理・分析

○探究活動Ⅰの学びを振り返り、坂中生徒へ伝えたい「防災に向けたメッセージ」を作成する

振り返り

○探究活動Ⅰ・Ⅱをもとに、防災学習での学びを外部に発信する方法や手段について考える

課題の設定

○西日本豪雨の被災者の体験談を聞く
○坂町HPの「復旧・復興に関する動画」を視聴する

創造・表現

○追悼集会を企画・運営する。
○追悼集会で、「防災に向けたメッセージ」を発表する

探究活動Ⅱ

坂町HPの「復旧・復興に関する動画」



復旧・復興に関する動画を公開しています□

課
○西日本
体験談を
○坂町H
に関する

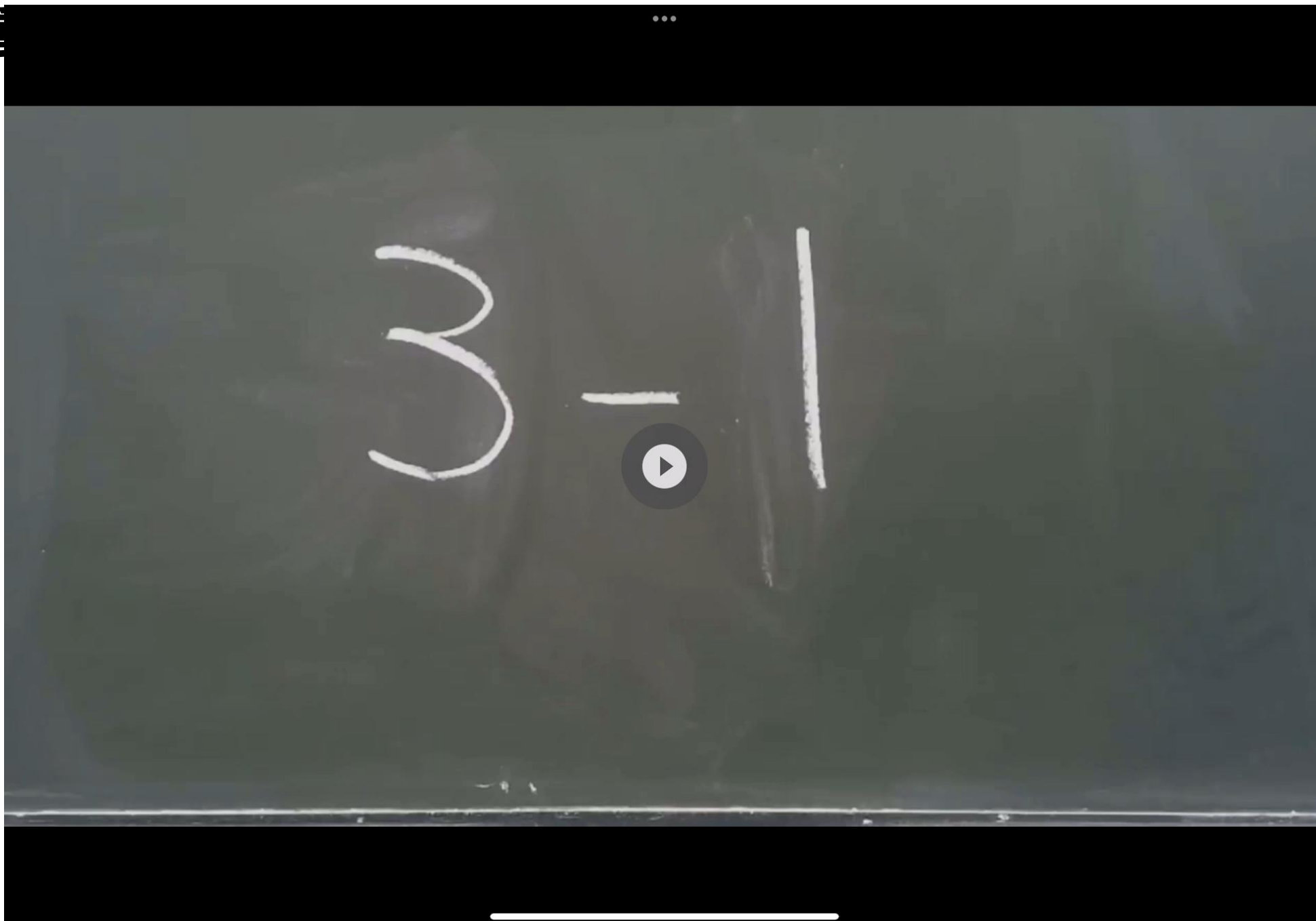
探究活動Ⅱ



情報の収集・整理・分析
○探究活動Ⅰの学びを振り返り、坂中生徒へ伝えたい「防災に向けたメッセージ」を作成する



探究活動



探究活動Ⅱ 7月6日 西日本豪雨災害追悼集会(オンライン)

坂町生活支援コーディネーター
社会福祉士による講演



創造・表現

- 追悼集会を企画・運営する。
- 追悼集会で、「防災に向けたメッセージ」を発表する

探究活動Ⅱ

7月6日 西日本豪雨災害追悼集会(オンライン)

各学級から全校生徒へ
防災に向けたメッセージ



創造・表現

- 追悼集会を企画・運営する。
- 追悼集会で、「防災に向けたメッセージ」を発表する

探究活動Ⅱ

振り返り

○探究活動Ⅰ・Ⅱをもとに、防災学習での学びを振り返り、外部に発信する方法や手段について考える

生徒アンケート	よく	やや	あまり	全く	H29肯定 (県)
授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	84.2		+44.3		39.9
授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	92.5		+15		77.5
授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	72.5		+19.4		53.1
授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思って取り組んでいます。	83.3		+14.9		68.4
学習の振り返りをする時には、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」などを考えています。	84.1		+25.1		59.0
授業は、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいます。	89.2		10.8	0	

3年総合的な学習の時間 「お互いの命をまもり合おう」

探究活動Ⅲ

グループでテーマを決め、これまでの学びを外部に発信し、地域に貢献する

ゴールイメージ

中学生の私たちがふるさと坂のためにできることは何か考え、行動することができる

探究活動Ⅲ

グループでテーマを決め、これまでの学びを外部に発信し、地域に貢献する

情報の収集

- Formsを使ってアンケートを実施し、実態を把握する。
- 防災、減災に関わる坂町の取組についての理解を深める。

体験・振り返り

- 他の中学校と防災に関わるオンライン交流会を実施する。

整理・分析

- 情報収集をもとに、テーマを決め、これまでの学びを外部に発信する方法を考える。(誰に対して、どこで、どのような方法で 等)
- 構想案を有識者に発表、意見交換を行い、構想案を見直す。(研究授業)

課題の設定

- 坂町環境防災課の方から坂町の取組、課題について知り、中学生の私たちからできることについて考える。

創造・表現

- 見直した構想案をもとに、資料や動画を作成し、外部に発信する。

探究活動Ⅲ

課題の設定

○坂町環境防災課の方から坂町の取組、課題について知り、中学生の私たちからできることについて考える。

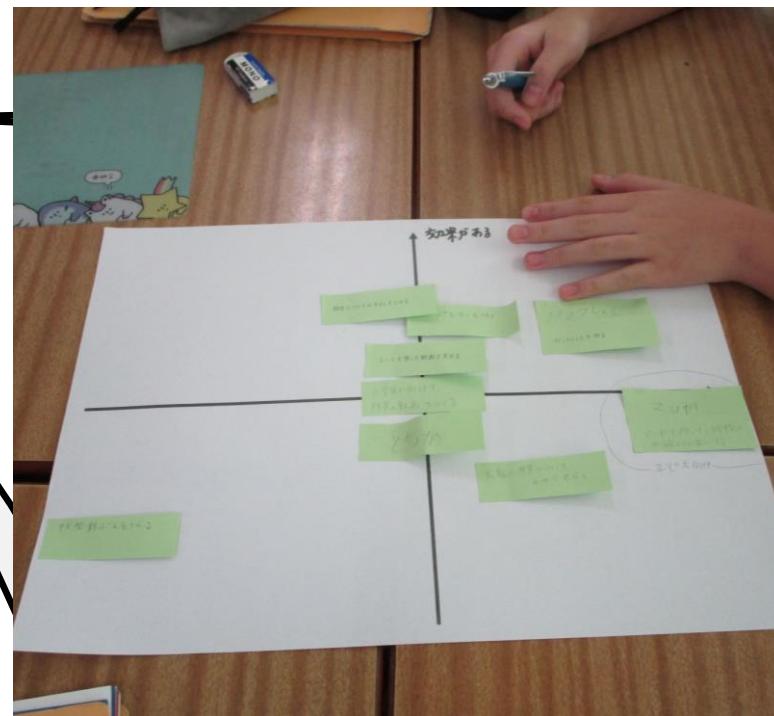
【しかけ】

○環境防災課の方から、坂町の取組、現在抱えている課題について話を聞く。



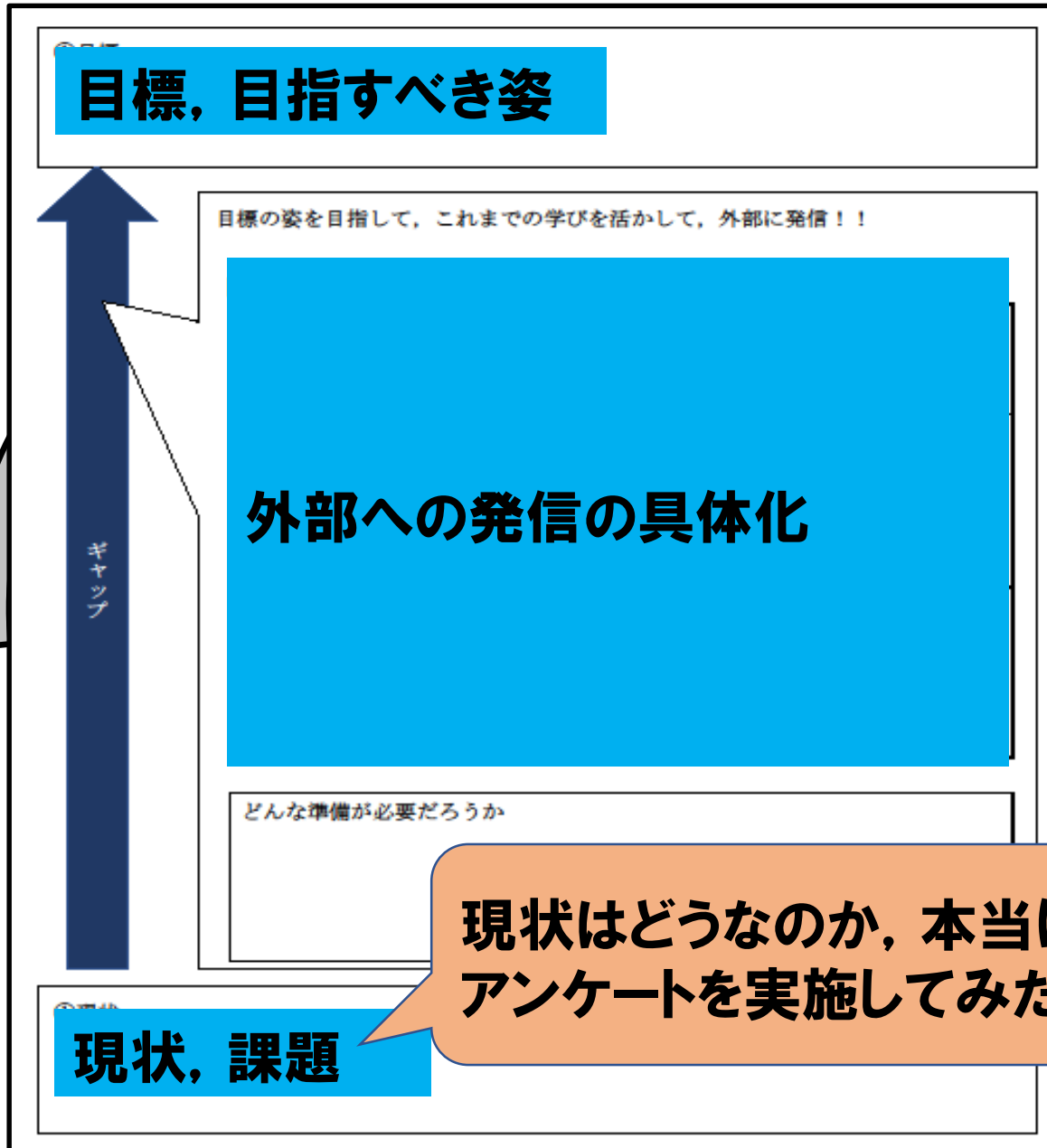
- ・防災、減災にむけて坂町でも様々な取組をしているが、被災の記憶も徐々に風化していく中で、危機感をもっているのだな。
- ・公助がいくら頑張っても限界がある。自助や共助に働きかける取り組みが必要だ。
- ・中学生の強みを生かして、坂町(行政)とは違う防災、減災の発信の仕方があるはずだ。
- ・私たちがつくった作品を小屋浦の災害伝承ホールに飾ってもらえないかな。

探究活動Ⅲ



課題の設定
○坂町環境防災課の方から坂町の取組，課題について知り，中学生の私たちだからできることについて考える。



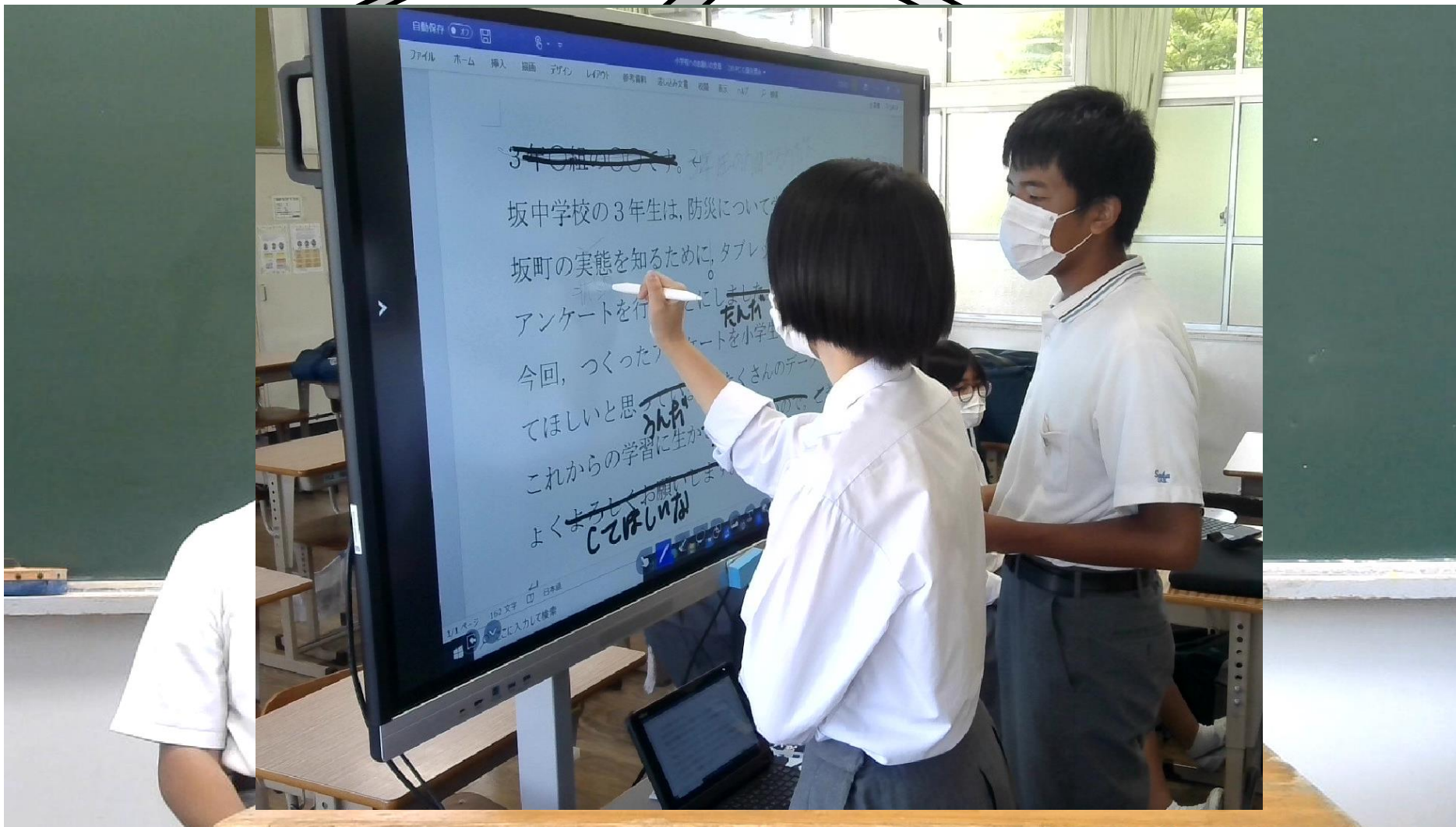


情報の収集
○Formsを使ってアンケートを実施し, 実態を把握する。

現状はどうか, 本当に課題なのかを調べるために, アンケートを実施してみたい。

小学校への依頼 動画の作成

情報の収集
○Formsを使ってアンケートを実施し、実態を把握する。



情報の収集
○Formsを使ってアンケート
を実施し、実態を把握する。

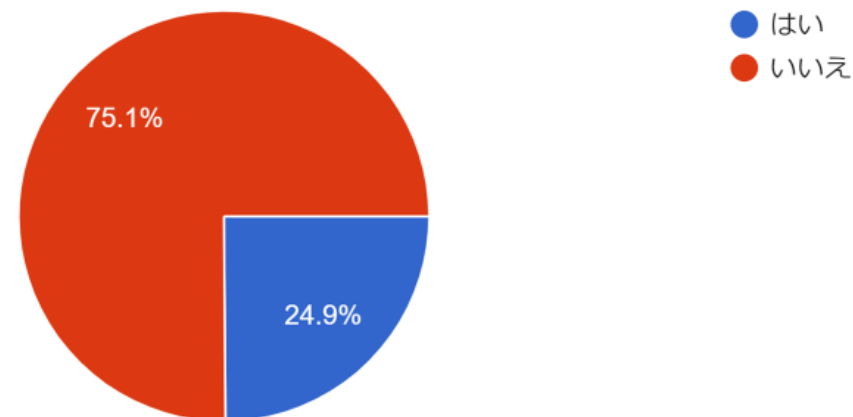
小学校へアンケートの依頼



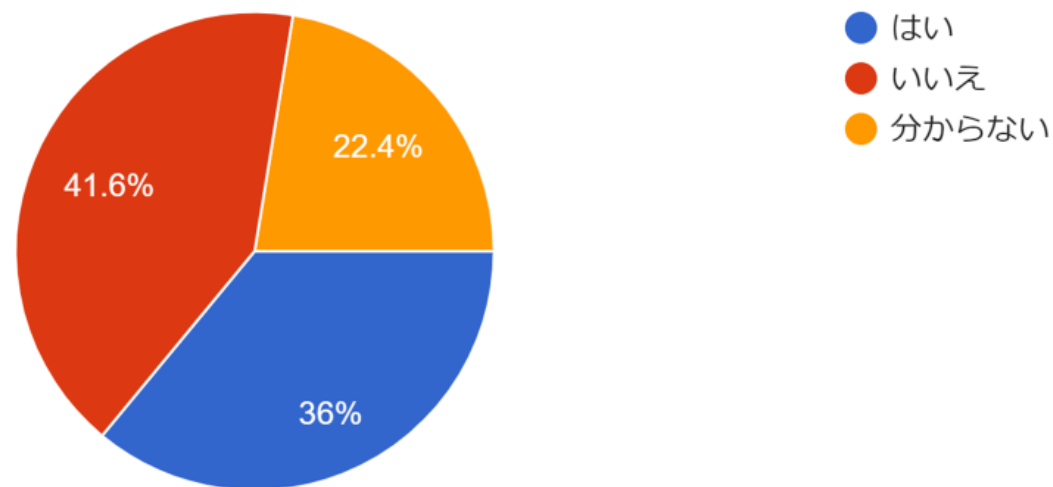
坂町立小中学校 防災についてのアンケート

データ数 571
(中学生 + 小学校 5・6年生)

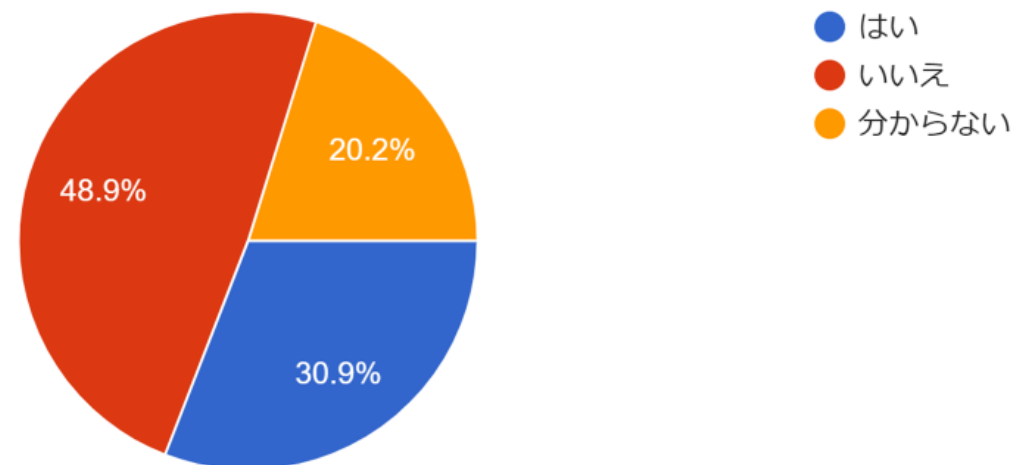
4年前の西日本豪雨のときに、あなたは避難しましたか。



あなたの家には、防災グッズが準備されていますか。



あなたの家では、倒れそうな家具を固定していますか。





整理・分析
○情報収集をもとに、テーマを決め、これまでの学びを外部に発信する方法を考える。(誰に対して、どこで、どのような方法で 等)



評価基準(ループリック)

Ⅲ ゲストティーチャーの話をもとに、一人一人が地域の防災に貢献できることを自覚しながら、外部への発信方法を整理・分析し、よりよい発信方法となるように、構想案を再考することができる。

Ⅱ ゲストティーチャーの話をもとに、自分たちが考えた外部への発信方法を整理・分析し、構想案を再考することができる。

Ⅰ ゲストティーチャーの話をもとに、構想案を再考することができる

整理・分析

○ゲストティーチャーのお話やアドバイスをもちに、班で考えた構想案を見直したり、具体化したりする

研究授業

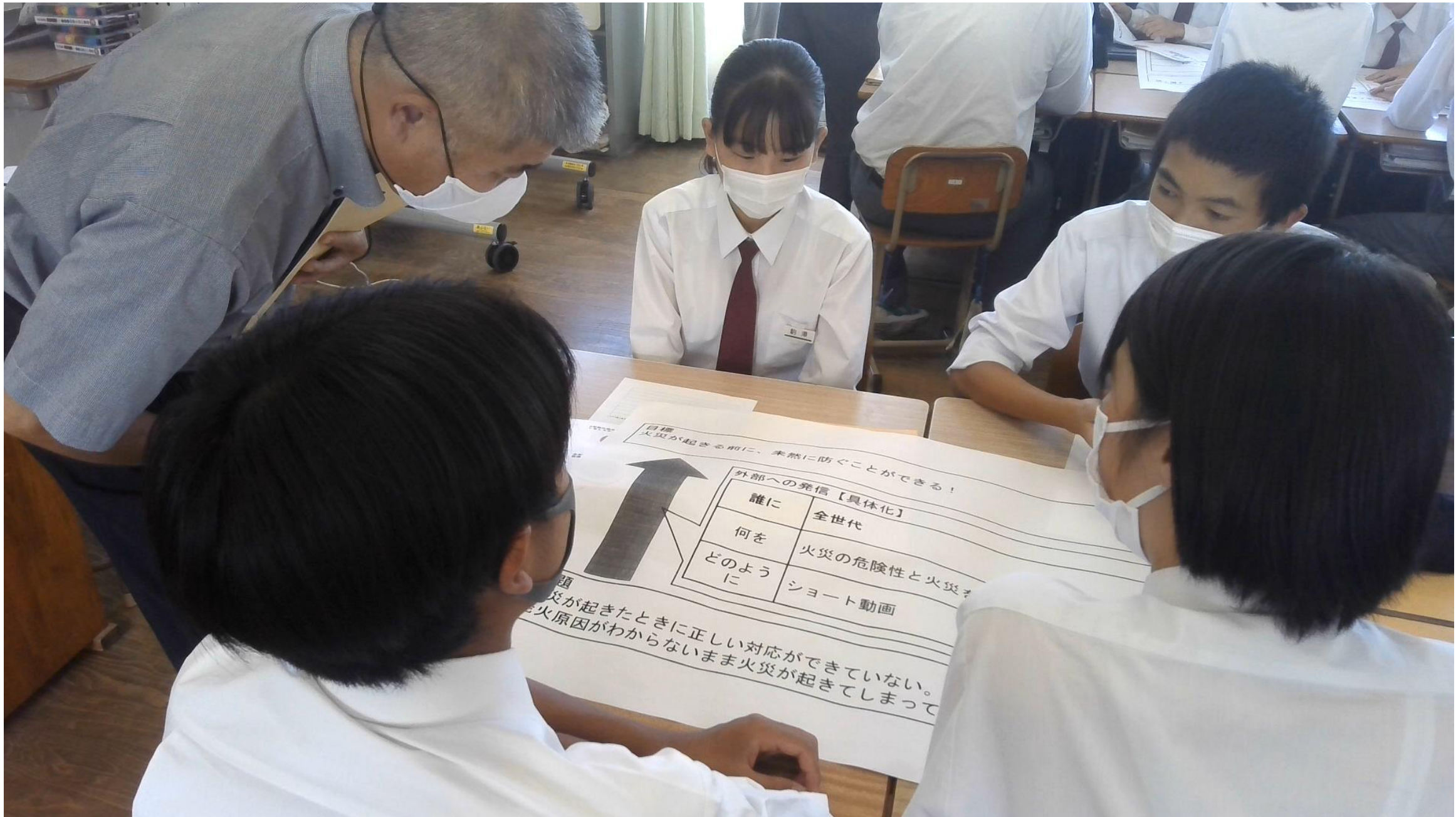


整理・分析
 ○ゲストティーチャーのお話やアドバイスをもちに、班で考えた構想案を見直したり、具体化したりする



研究授業

ゲストティーチャー
 ○防災士
 ○社会福祉士
 ○坂町環境防災課



目標 火災が起きる前に、未然に防ぐことができる！

外部への発信【具体化】	
誰に	全世代
何を	火災の危険性と火災の
どのように	ショート動画

火災が起きたときに正しい対応ができていない。
火原因がわからないまま火災が起きてしまった

○創造・表現の活動として確保できる時間が5時間だったため、5時間の中で、構想案の実現が可能かどうか、実現していくにはどのように取り組むかについて検討させ、3つの活動案を提示し、各班ごとに選択させた。

活動①構想案に引き続き取り組む。

活動②時間的な制約のため実現が難しい→これまでの学びを防災新聞にまとめる。

活動③時間的な制約のため実現が難しい→オンライン交流会に向けて、坂中学校の取組をスライドにまとめる。

創造・表現

○見直した構想案をもとに、資料や動画を作成し、外部に発信する。

活動① 2組4班の取組

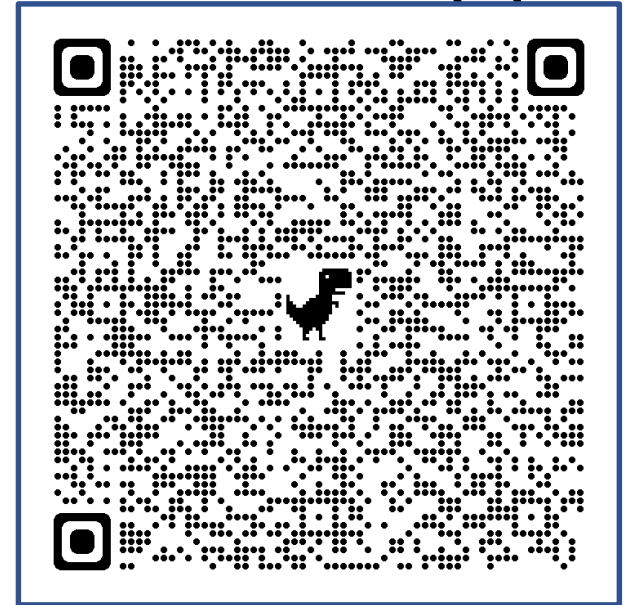
目標
災害の怖さを忘れないでほしい

2組4班

外部への発信【具体化】

誰に	地域の人たち
何を	避難の仕方や、災害の怖さについて
どのように	<ul style="list-style-type: none">・クイズのQRコードを、広報にのせる。・ポスターでクイズを宣伝する。

現状 災害について忘れられていっている。



創造・表現

○見直した構想案をもとに、資料や動画を作成し、外部に発信する。

活動① 3組3班の取組

災害の危険さについて知らせる

3班3組

- 1、避難が遅れるとどれだけ危険になるのか
- 2、災害が起こった時に特に困ったことを伝える ネットなどから体験談を持ってくる

外部への発信【具体化】

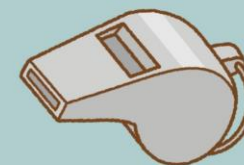
誰に	地域の人々
何を	災害の危険性と避難の大切さ。
どのように	ポスター？

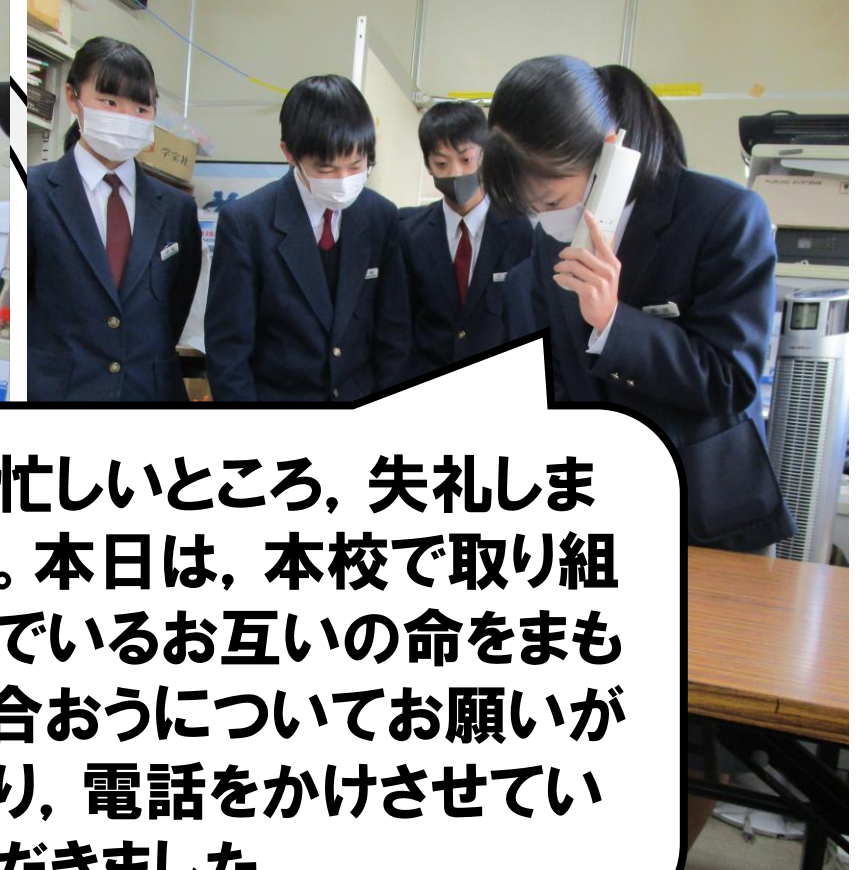
現状 防災グッズを準備している人は約3ぶんの1ぐらい
防災意識があまり高くない

創造・表現

○見直した構想案をもとに、資料や動画を作成し、外部に発信する。

避難時には





構想案をもとに作成した成果物を外部に発信するために、依頼の電話をかけています

お忙しいところ、失礼します。今日は、本校で取り組んでいるお互いの命をまもり合おうについてお願いがあり、電話をかけさせていただきました。

....

創造・表現

○見直した構想案をもとに、資料や動画を作成し、外部に発信する。

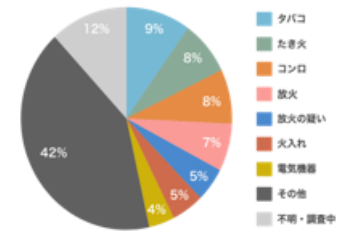
防災新聞

三年四組九番
花野まこと

火災の対策

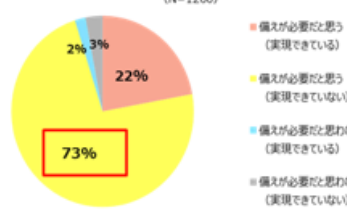
まとめ

火災の発生原因



右図は火災の発生原因です。割合を見ると「タバコ」「たき火」「コンロ」などが主な発火原因だとわかります。原因不明の火災も起きています。

備えが必要だと思う・備えが実現できている

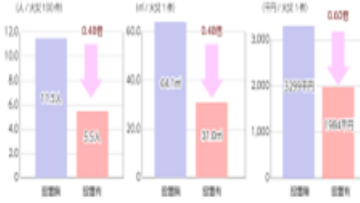


右図は火災に対する備えができていない人の割合を表した円グラフです。このグラフから備えが必要だとわかっていても備えていない人がいます。

日本では一日に約百件の火災が発生しており、年間では三五〇七七件の火災が発生しています。これは十五分に一件の火災が発生したことになります。そんな火災の発生原因は何なのでしょうか。

上記で火災の発生原因について説明しました。では、火災にできる対策は何があるのでしょうか。コンロから離れる、ストーブの周りを整理すること、マッチやライターで遊ばない、火災の発生を早く知る、などがあります。

普段の生活から、火災に対して対策を行い、もし火事が起きた時にはしっかりと対応することができるようになっておくことが大切です。普段からできる対策は「ストーブやコンロは安全装置の付いた物を使用する」などがあります。



これは安全装置を設置した時の死者数と焼損床面積、焼損額を表したグラフです。このグラフを見ると安全装置をつけた方が死者数や焼損額が減っているとわかります。対策を行い被害を抑えましょう。

創造・表現

〇見直した構想案をもとに、資料や動画を作成し、外部に発信する。

防災新聞

三年四組四十三番
三浦 愛弥

命を守る対策

私は、総合的な学習の時間に防災について調べました。四年前、私たちがまだ小学生の時に起きた西日本豪雨で、多くの方が被害に遭いました。そんな経験を私たちが忘れず、命を守る対策をしたいと思います。まず、避難経路の確認をすることが大切です。それをする時、もしの事があっても素早く行動出来るようにしておく必要があります。西日本豪雨の時に被害に遭った場所を確認し、その道を通る道を事前に確認する事は、素早く行動するには不可欠な準備しておく事も大切な事で、**非常用持ち出し袋の準備**もとても良いと思います。

クイズ

1. 避難経路を確認する時、何を優先して確認しますか？
A. 避難経路を確認する
B. 避難経路を確認する
C. 避難経路を確認する
D. 避難経路を確認する
2. 非常用持ち出し袋には何を必ず入れておくべきですか？
A. 現金と貴重品
B. 現金と貴重品
C. 現金と貴重品
D. 現金と貴重品
3. 火災が起きた時、まず何をしますか？
A. 大声でまわりに知らせる
B. 119番通報する
C. 初動消火
D. 避難する
4. 避難する時、何を必ず持ち出すべきですか？
A. 現金と貴重品
B. 現金と貴重品
C. 現金と貴重品
D. 現金と貴重品

今から出来る対策
災害に備える対策、避難する時に必要な準備は、災害に備える準備が大切です。そこで、私たちはどんなことをしたらいいかを具体的に決めました。

- ① 目的、実行可能な家について
- ② 目的、非常用持ち出し袋の準備
- ③ 目的、避難経路の確認

これは一般的な呼びかけをされている事だと思えます。ですが、この取り組みを具体的にされている家庭は少ないと思います。食料や飲料、衣類、ラジオや懐中電灯等々たくさんの物が必要になってきます。**非常用持ち出し袋の準備**は、事前に準備しておく必要があります。



右の図は、その図です。先ほど、「二回も話した家にある家具について書かれた図です。このように家具を固定し、倒れてくる危険がないようにする必要があります。例えば、ねじ止めやストッパーを使用したり、ベルトで止めたりなど様々な方法があります。これをすることで、命を守ることも出来ます。他にも沢山の命を守る方法がインターネットにも掲載されています。是非、調べられる機会があれば、ぜひ、私にこの学習を行い、少しでも多くの命を守る対策を考へ、それを自分だけで決めておくのではなく、自分の周りにも伝えていきたいと思っています。

活動② 4組3班の取組

防災新聞

三年四組 四十三番
山下美穂

火災について

私たちは五年前、西日本豪雨の被害を受けました。そこで、防災について調べました。火災に私たちの家は、火災に被害を受ける可能性があります。私たちが身近な災害の中で最も発生件数が多いのは、火災です。火災が起ると対処をしなければなりません。正しい対処をしないと、火災が広がる可能性があります。火災の原因は、タバコ、たき火、コンロ、放火、放火の疑い、火入れ、電気機器、その他、不明・調査中



火災の発生原因とは

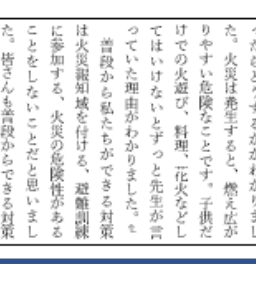
火災の発生原因として最も多い原因はコンロ、たき火、ストーブなどがあげられます。火が広がらないように、ストーブの近くには洗濯物を干して引火してしまったりして火災が発生します。

火災が起きた時の行動

1. 大声でまわりに知らせる
2. 119番通報する
3. 初動消火
4. 避難する

火災が起きたときは、まずは大きな声で周囲に火災が知らせ、落ちてくるとの危険を知らせます。煙を吸わないよう、姿勢を低くし、ハンカチ等を鼻や口に当てて避難しましょう。もし炎が天井に燃え移ってしまった場合は、初期消火は止め、炎が燃え広がる前に、速く素早く避難することが大切です。また、煙が進入しないよう、ドアなどのすき間に衣類等を詰め、目張りをして、救助を待ち、窓等から目につきやすい物を振って、助けを求めましょう。落ちてくるとの危険を知らせ、不用意に飛び降りたりしないことが最も重要になります。これらの注意点を守ることは私たちの命を守ることに繋がります。

まとめ
私は火災について詳しく調べ、原因、対処法について詳しく知ることができました。このことから、自分の命を守る、事前に関心を持ち、自分自身で対策を講じることが出来るようになることが大切です。火災は発生すると、燃え広がると危険な状況になります。火災の原因は、タバコ、たき火、コンロ、放火、放火の疑い、火入れ、電気機器、その他、不明・調査中



活動③ 3組1班の取組

3～5時間目

ワークシートでLet's防災学習

・ワークシートを使い、**防災の基礎知識** について学びました。

★図や写真を見ながらグループで話し合いもしました。

- ・どのハザードマップがどの災害のものなのか
- ・災害はどんなところで起こりやすいのか

- ・災害の種類、特徴
- ・減災について
- ・自助、共助、公助
- ・警戒レベル
- ・ハザードマップの種類
etc...

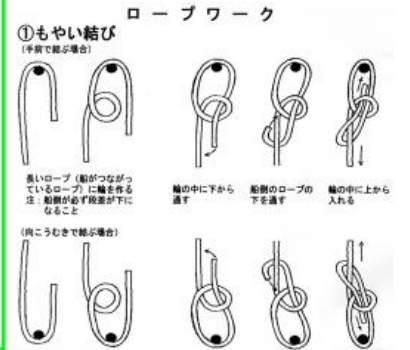


グループで協力しながら**防災の基礎知識**を身に着けました。

スライド 2

12～15時間目

- ・12～15時間では自衛隊の方々が講習会に来てくれました。
- ・簡易担架を作成したり、もやい結びをしたり、自衛隊の方の車内を見学しました。



スライド 4

創造・表現

○見直した構想案をもとに、資料や動画を作成し、外部に発信する。

探究活動Ⅲ

生徒アンケート	探究活動Ⅲ終了時 肯定評価		探究活動Ⅱ終了時 肯定評価	H29肯定 評価(県)
	よく	やや		
授業では、課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	93.8		84.2	39.9
授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	97.4		92.5	77.5
授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	95.6		72.5	53.1
授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思って取り組んでいます。	94.7		83.3	68.4
学習の振り返りをする時には、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」などを考えています。	95.6		84.1	59.0
授業は、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいます。	95.2		89.2	

「ふるさと坂のために、中学生の私たちができること」について、あなたの考えを書きなさい。

防災は公助・共助・自助が大切だと学びました。共助は地域の人との信頼関係によってできるものだと思います。そのため、日常の挨拶やボランティアなどをしていくことが大切です。そうすることで顔見知りになって、災害が起こって助けに行ったときに、すぐに理解してくれると思いました。何かあった時のために、日ごろから人間関係を築くことで、少しでも中学生に耳を傾けてくれたり、意見を尊重してくれたりして、住みやすい街になると思います。だから、中学生の私たちによって、あいさつなどの当たり前をしていくことが大切だと思います。

中学生の私たちがふるさと坂のためにできることは何か考え、行動することができる

答えのない問い

自分事

地域に貢献

「ふるさと坂のために、中学生の私たちができること」について、あなたの考えを書きなさい。

「坂のために」中学生である私たちができることは、限られた小さなことで、大人が必死になっても自然の力には抗えない。しかし、今回の総合でしたように、危険区域に住んでいる人の防災意識を高めることはできると思う。現在の坂町民は実際に危険な体験をしているので、意識は高くなっていると思うが、これを私たちの年代で絶やしてしまうと、また多くの被害がでてしまう。だから、どんなに自然災害が危険か、どう対策をするのかを学び、しっかり伝えていくことが、中学生である私たちのできることだと思う。

ゴールイメージ

中学生の私たちがふるさと坂のためにできることは何か考え、行動することができる

答えのない問い

自分事

社会の担い手